

第30回

うつのみやこども賞だより

平成25年度 5回

2013年10月6日発行

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『3人のパパとぼくたちの夏』

井上林子／著（講談社）

『宇宙犬ハッチー』

かわせひろし／作（岩崎書店）

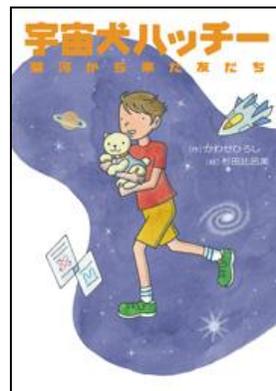


～読んだ本の感想より～

- マイナスな感じからスタートした話が結局プラスになる面白さと、話の急な変化が僕を楽しませた。
- 登場人物みんな思いやりとユーモアをかねそろえていて、とっても楽しかった。
- 家出したおかげで、お父さんの大切さについてしれた。
- めぐるはふだん私のお母さんがやっている家事をほぼ全部やっているのはすごいなぁと感心した。
- このことをきかいにめぐるのおとうさんが家事

をやってくれたらいいと思います。

- 2つの家族が一緒になってくらししているのはすごい！！



- 本当に宇宙人が地球にいるのかなと思うくらい「宇宙犬ハッチー」に感情移入できた。おもしろかった。
- ハッチー最大のてきりド・ビーダ人と戦うときはこちらも息をとめてしまっていた。
- 2人のきずながふかまっていくのがよかったです。
- 対決の時、友樹の放ったものが殺虫ざいだと知ったら、なるほどと思った。
- 名前がすごくよみずらくて、宇宙犬のような感じがした。

- 宇宙から来た友達はいいなぁと思いました。
- 何か宇宙との関わりが欲しくなった。
- 自分の星に帰ったハッチーのことも書いてほしかった。

『べんり屋、寺岡の夏。』 中山聖子／著（文研出版）

- いろんな経験ができるいい仕事だと思った。美舟もそういうふうにして成長して行ってよかった。
- わたしの家の近くにも「べんり屋」があればいいなぁと思った。
- おばあちゃんを思うやさしい気持ちがでていた。
- 「まっとうに生きる」という意味を私も考えてみる事ができました。
- だれかのためにいっしょうけんめいにやる主人公がすごくかっこいい。

『ともだちは、サティー！』 大塚篤子／著（小峰書店）

- 言葉のかべもつきやぶって生まれた友情は何よりも強かった。
- ツトムはヤマ村に行ったおかげで友達の大切さについて知れた。
- ネパールの言葉が出てきたりもしたのでよかったと思いました。
- パニとツトムがいろんなことをのりこえながら放牧に行くすがたがよかった。
- ツトムはパニたちとサティーになれてよかった。